

ユピテル工業株式会社 YUPITERU

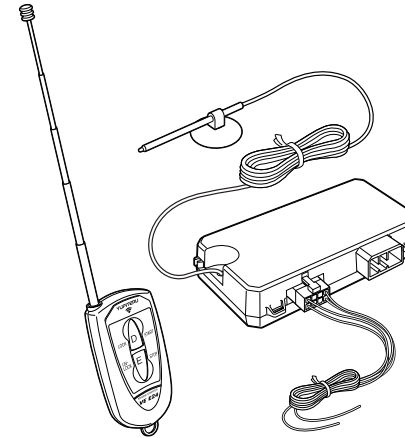
テレコントロールエンジンスターター

VE-E24

取扱説明書

目次

はじめに	主な特長	2
	ご使用の前に	4
	各部の名称とはたらき	7
	基本接続図	9
	安全機能について	10
	電池交換のしかた	11
	リモコンの上手な使いかた	12
	アンテナ線の取り付け	13
操作する	セル時間の設定	14
	アイドリング時間の設定	16
	エンジンを始動させる	18
	エンジンを停止させる	20
	車への乗車	21
	ターボタイマー機能について	22
	スリープ機能について	23
オプション	ドアロック/アンロックの操作	24
	リモコンの追加	26
	多彩なオプション	28
その他	バッテリー交換や 本体付け替え時の再設定	30
	故障かな?と思ったら	32
	仕様	33
	アフターサービスについて	33
	保証書	裏表紙



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。
また、本機を取り付けたことによる、車輛や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

- 取り付け可能な車
- ・適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- ・オートマチック(AT)車
- ・キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- ・12V車で、⊖アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。
・マニュアル(MT)車には取り付けできません。

保証書

(持込修理)

本書は本書記載内容(裏面記載)で、無償修理を行うこととお約束するものではありません。

保証期間中に正常な使用状態で、故障が発生した場合に、本書記載のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 VE-E24 (テレコントロールエンジンスターター)

S/No.

お買い上げ日

年 月 日

保証期間

お買い上げの日より3年

対象部分メインユニット(リモコン)は1年。消耗品は除く。

お名前

様

ご住所

〒

番

号

店名・住所

販売店

TEL.()

上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。

ユピテル工業株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

R100

PRINTED WITH
SOY INK

6SS0768

■目立たないスパイラルアンテナを採用し、車内スッキリ

車内のインテリアデザインをそのままに、エンジンスターターのアンテナに目立たないスパイラルアンテナ(特許出願中)を採用しました。

■電波到達距離(直線見通し)3,000mを実現

高度な通信技術、エンジン始動制御技術の採用により、安定したエンジンの始動・停止ができます。

市街地、住宅地(見通し) 約300m(300m~700m)
妨害電波の少ない河川道路(見通し) 2,000m~最大3,000m(当社測定)

- ※ 電波の届く距離は、地形・建物などの条件により変化します。
- ※ ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときのほうが短くなることがあります。
- ※ 車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲でご使用ください。

■万一の事故を防止する充実の安全機能

本機により、エンジンを始動させるときや始動した後に、さまざまな安全機能が働き、万一の事故を防止します。

① エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動した後、設定した時間が経過するとエンジンが自動的に停止します。

② P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動はできません。また本機でエンジンを始動させた後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが自動的に停止します。

※ 一部の車輦では、P・(パーキング)ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。この場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■安心の3年保証

お客様に安心してご使用いただけますように、3年間の保証をご提供いたします。
※ 3年保証はメインユニット(リモコンは1年、電池等の消耗部品は除く)が対象となります。

■誤作動を防ぐIDコード

1億通りの中から商品ごとに個別のIDコードを設定。他の電波による誤作動を防止します。

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせたアイドリング時間を、10~30分の間で5分単位の設定ができます。

■ターボタイマー機能

走行時間に合わせて、走行後のアフターアイドリング(30秒~3分)を自動的に行うことができます。

※ P・ポジションを自動検出できない車輦の場合は、P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。(フットブレーキへの接続では動作しません)

■スリープ機能

車を使用しない状態が14日以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が動作すると、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度車のキーを使ってエンジンを始動させてください。

■リトライ機能

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動を自動的に2回まで行います。

■多彩なオプション

① キーレスエントリー

別売 キーレスエントリー：A-17SF

離れた場所から、本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

② ハザードアンサーバック機能(オプション対応)

別売 ハザード制御：A-18SF

本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後(リモコン操作後 最大20秒以内)にハザードランプを3回点滅してエンジンの始動をお知らせします。

また、本機によるエンジン始動中でも、リモコン操作によりアイドリング状態(3回点滅)の確認ができます。

さらに別売 キーレスエントリー：A-17SF接続車は、リモコン操作またはオートキーレス機能で、ドアのロック/アンロック時にハザードランプを1回/2回点滅して、ドアの施錠/解錠が行われたことをお知らせします。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告: 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意: 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 ○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告

❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

🚫 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。

🚫 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

🚫 お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでONした場合と同じ状態になり、大変危険です。

❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。

🚫 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

🚫 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

🚫 煙がでている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

🚫 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください

- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき

❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はスターターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

❗ 車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

🚫 むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守る

- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)OFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
- すべての窓を閉めてください。
- すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。

※公道とは不特定多数の車が入り出りできる場所を含みます。



本機を取り付けたことによる、車輛や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

ご注意 電波法について

- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。

■ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

- オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車などで、本機をご使用になる場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

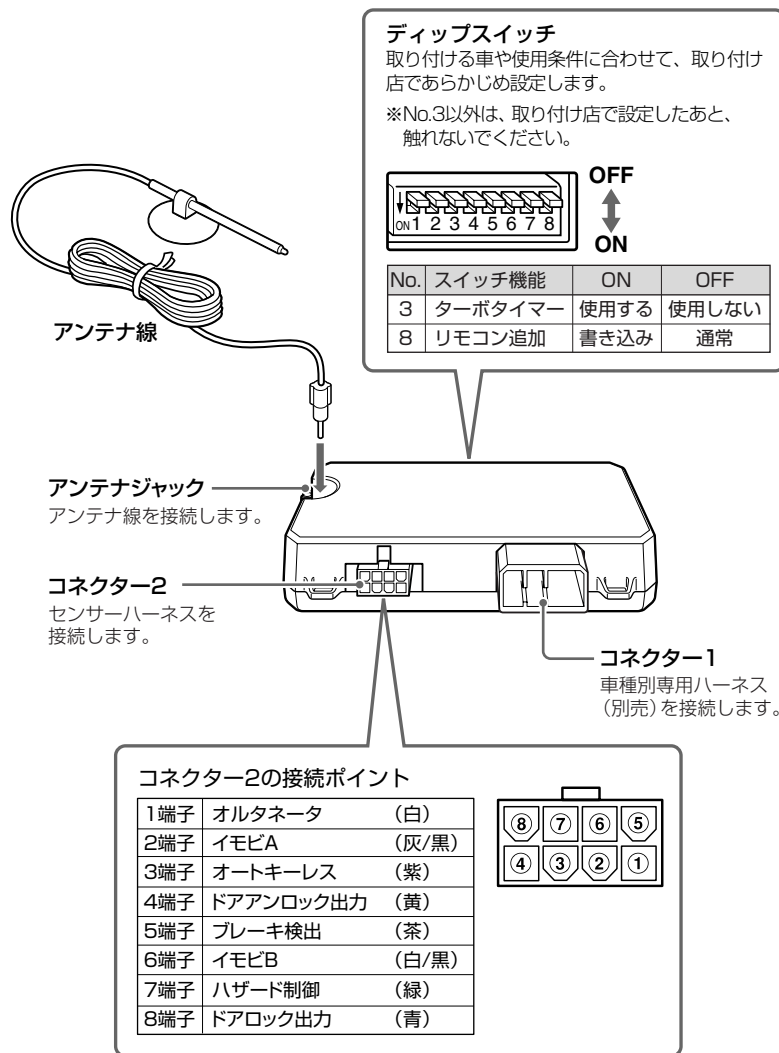
- ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について(オプション対応)
ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドア・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。
キーでエンジンをかけているときは、リモコンでドアのロック/アンロックはできません。
※車から離れるときは、ドアのロックを確認してください。

ご注意 取り扱いについて

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。



メインユニット

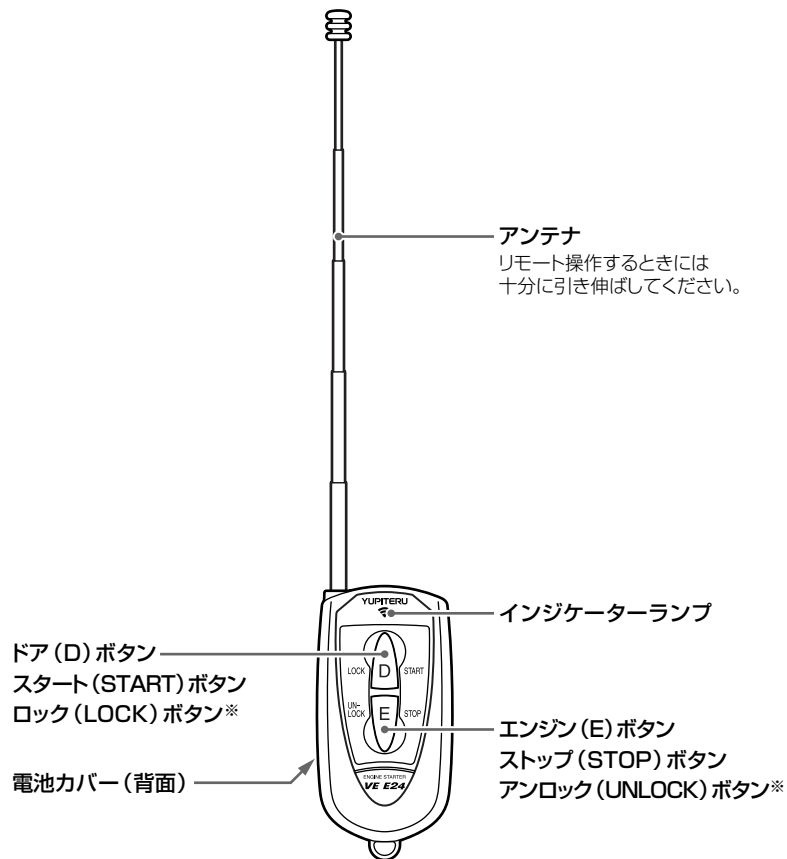


リモコン

本機リモコンは、ダブルアクション操作(2回押し操作)により誤作動を防止しています。

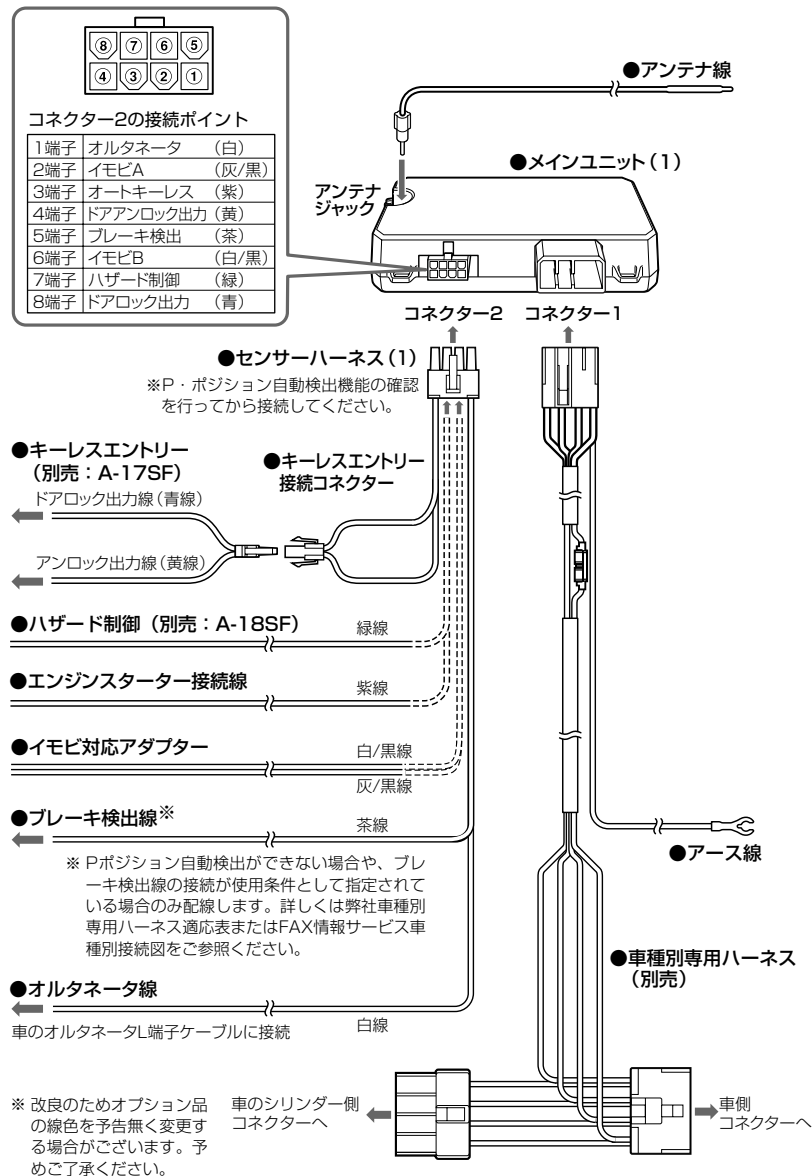
ダブルアクションの最初にエンジン(E)ボタンを押した場合は、エンジンスターターの操作となり、最初にドア(D)ボタンを押した場合は、ドアロック/アンロックのキーレス操作ができます。

※本書、文中内の操作説明はエンジン(E)/ドア(D)ボタンの2つの名称で統一して記載しています。



※印は、別売 キーレスエントリー：A-17SF接続車のみ有効です。

基本接続図



安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション自動検出

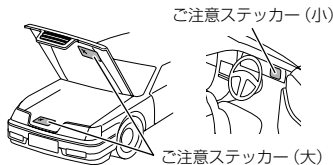
シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外の場合は、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車輛では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。



⚠警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



電池交換のしかた

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。
電池交換中は車の周囲の安全を確認してから行ってください。

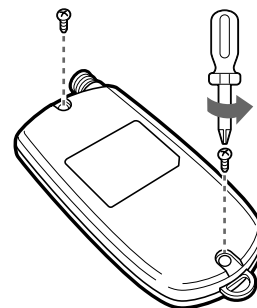
電池の交換時期について
リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。
早めに新しい電池と交換してください。

電池寿命の目安

約1年を目安に新しい電池(CR1616)と交換してください。

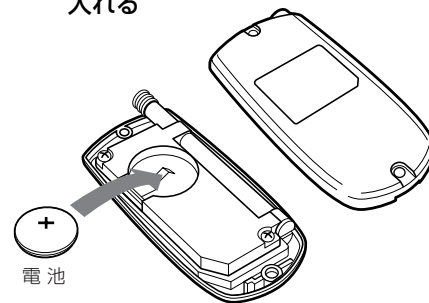
- ※使用する条件によって異なります。
- ※付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。
- ※指定の電池(CR1616)以外は使用しないでください。

1 電池カバーを開ける



※ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池(CR1616)を、⊕を上にして入れる



※内部のネジなどには触れないでください。
分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

3 電池カバーを閉める

⚠警告

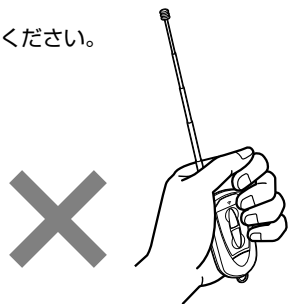
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。
また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

リモコンの上手な使いかた

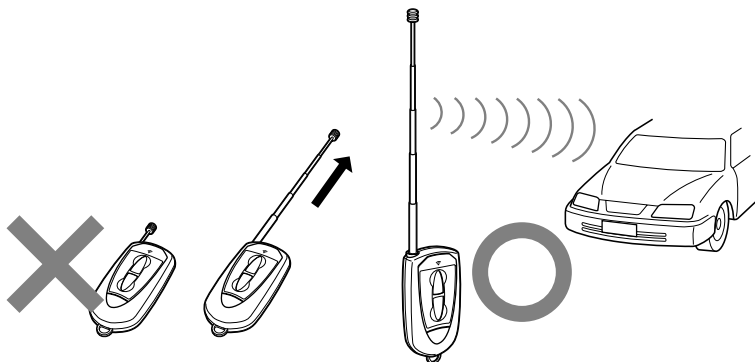
リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※電波が飛びにくくなります。



■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



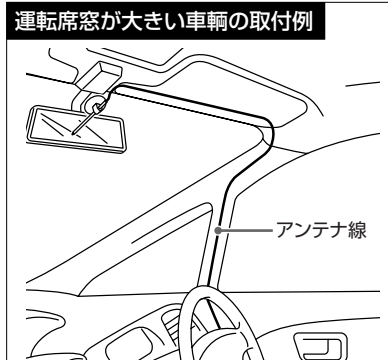
アンテナ線の取り付け

■アンテナ線の取り付け目安

アンテナ線を、メインユニットから運転席ドア方向に這わせ、インパネとドアとの間の隙間に沿って、ビラーとフロントガラスの隙間に埋め込みバックミラーまで配線してください。アンテナ先端部(約10cm)は隙間に入れたままにせず、フロントガラスから1~2cm程度離して付属の吸着盤を使ってフロントガラスに貼り付け固定します。



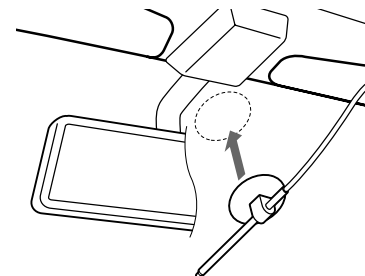
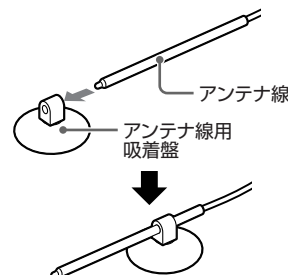
運転席窓が右図のように大きい車種は、アンテナ線を最短距離に配線してください。



※アンテナ線は丸めたり、他の電源線や信号・グランド線と束ねたりせずに、すべての長さ(約2.4m)を使って、配線方法にしたがって取り付けてください。

※ラジオ、オーディオ、テレビなどの近くに配線すると、それらの影響で通信距離が短くなることがあります。また、それらの機器でノイズが発生する場合があります。

アンテナ線を配線後、付属のアンテナ線用吸着盤をアンテナ線に取り付け、フロントガラスに貼り付け固定してください。



セル時間の設定

車に合わせて、リモコンでセルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。(工場出荷時は1.0秒に設定されています)

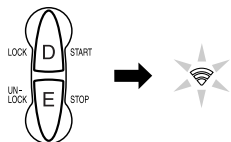
※ オルタネータ線(白線)を接続している場合、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

セル時間を延長する

※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

リモコンの操作

1 リモコンのドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

2 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから『ピー』と鳴り、セル時間設定モードになります。

3 ドア(D)ボタンを押す



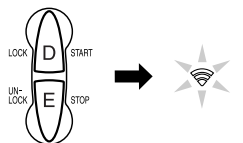
インジケータランプが点滅します。

4 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、もう一度ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたセル時間にに応じたブザー音が鳴ります。セル時間が1段階延長されました。※ さらにセル時間を延長する場合は、**3**に戻って設定を続けます。

5 ドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

6 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点灯(2秒間)し、メインユニットから『ピビッ』と鳴り、セル時間設定完了になります。また、時間設定操作から1分経過すると、自動的にセル時間の設定を終了します。

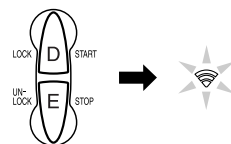
※ 設定には専門知識が必要です。不必要な設定は車輛の破損につながりますので、十分ご注意ください。

セル時間を短縮する

※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

リモコンの操作

1 リモコンのドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

2 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから『ピー』と鳴り、セル時間設定モードになります。

3 エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅します。

4 インジケータランプが点滅中(3秒間)、もう一度エンジン(E)ボタンを押す

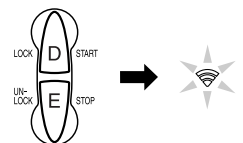


インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたセル時間にに応じたブザー音が鳴ります。

セル時間が1段階短縮されました。

※ さらにセル時間を短縮する場合は、**3**に戻って設定を続けます。

5 ドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

6 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから『ピビッ』と鳴り、セル時間設定完了になります。また、時間設定操作から1分経過すると、自動的にセル時間の設定を終了します。

セル時間とブザー音

0.5秒	ピッ	2.0秒	ピー
0.7秒	ピビッ	3.0秒	ピービッ
1.0秒	ピビビッ	5.0秒	ピービビッ
1.5秒	ピビビビッ		

アイドリング時間の設定

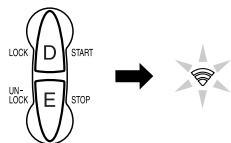
エンジンスターターで始動した場合のアイドリング時間(10分~30分の間で、5分単位)をリモコンで設定できます。(工場出荷時は10分に設定されています)

アイドリング時間を延長する ※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

アイドリング時間を短縮する ※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

リモコンの操作

1 リモコンのドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

4 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、もう一度ドア(D)ボタンを押す

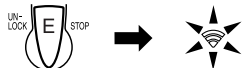


インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたアイドリング時間に応じたブザー音が鳴ります。

アイドリング時間が1段階延長されました。

※さらにアイドリング時間を延長する場合は、**3**に戻って設定を続けます。

2 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す



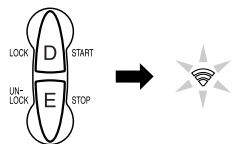
インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから『ピーピー』と鳴り、アイドリング時間設定モードになります。

3 ドア(D)ボタンを押す



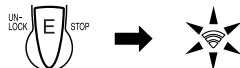
インジケータランプが点滅します。

5 ドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

6 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す

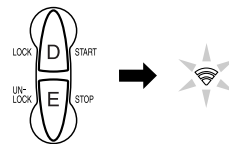


インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから『ビビッ ビビッ』と鳴り、アイドリング時間設定完了となります。

また、時間設定操作から1分経過すると、自動的にアイドリング時間の設定を終了します。

リモコンの操作

1 リモコンのドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

4 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、もう一度エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたアイドリング時間に応じたブザー音が鳴ります。

アイドリング時間が1段階短縮されました。

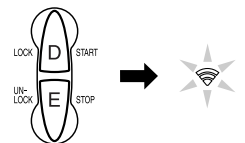
※さらにアイドリング時間を短縮する場合は、**3**に戻って設定を続けます。

2 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから『ピーピー』と鳴り、アイドリング時間設定モードになります。

5 ドア(D)ボタンとエンジン(E)ボタンを同時に押す



インジケータランプが点滅します。

3 エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅します。

6 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから『ビビッ ビビッ』と鳴り、アイドリング時間設定完了となります。

また、時間設定操作から1分経過すると、自動的にアイドリング時間の設定を終了します。

■アイドリング時間とブザー音

10分	ピッ	25分	ビビビビッ
15分	ビビッ	30分	ビー
20分	ビビビッ		

操作する

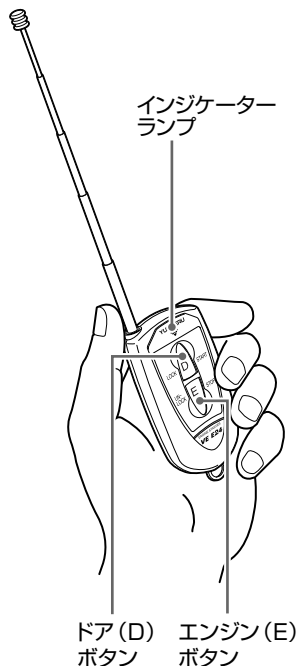
操作する

エンジンを始動させる

⚠注意

降雪時や寒冷地で車を駐車する際の注意

車を駐車する際はワイパーをOFFにしてください。本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結等により、過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。



- リモコンを操作するときは
- アンテナを十分に伸ばしてください。
 - アンテナに手などを触れると電波が飛びにくくなります。

メモ

- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

リモコンの操作

- 1** エンジン(E)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



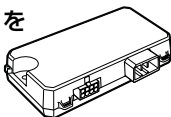
- 2** インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりスタート信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

- 3** 安全機能のチェックを自動的に行う



- 4** 約5秒後にエンジンを始動させる

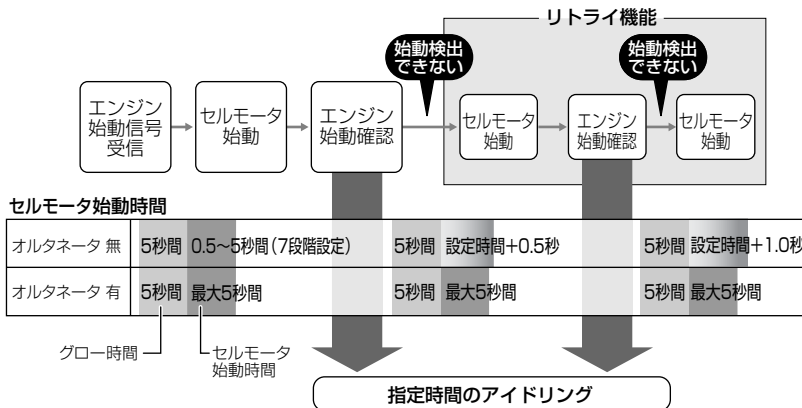
- 始動すると、アイドリング中はメインユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことをお知らせします)
- 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。
- 別売 ハザード制御: A-18SFを接続していると、エンジン始動後、約20秒以内にハザードランプを3回点滅して、エンジン始動をお知らせします。また、エンジン始動中に上記エンジン始動操作を行うとハザードランプを3回点滅して、アイドリング中であることをお知らせします。

- 始動したあと、設定されている時間*が経過すると自動的にエンジンは停止します。

*10分から30分。(アイドリング時間の設定は16ページ参照)

リトライ機能とセルモータ始動時間について

エンジンが始動しなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。



※ オルタネータ線を接続した場合、セルモータの始動時間は最大5秒となり、エンジンの始動を検出すると、セルモータを停止します。

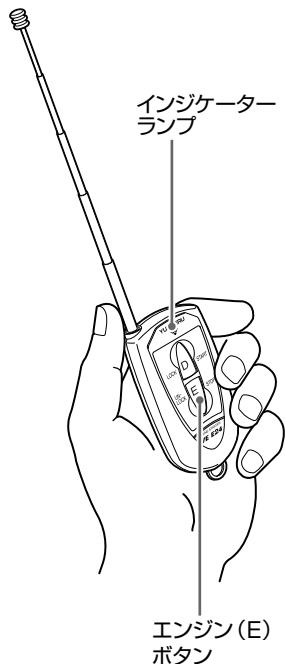
※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。

⚠警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。
リモコンの電波は周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

エンジンを停止させる

本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止(アイドリングを中止)することができます。

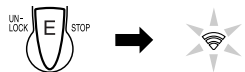


メモ

エンジンが始動しているときに、ファンモーターなどのノイズの大きい車や、外の無線機の近くで使用すると、それらの影響で、リモコンの通信距離が短くなることがあります。

リモコンの操作

- 1 エンジン(E)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



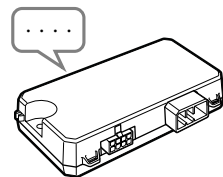
- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりストップ信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

- 3 エンジンが停止する



メインユニットからの断続音は鳴りやみます。

※フットブレーキを踏んで、一旦シフトレバーをDまたはRの位置にすることで、エンジンを停止することもできます。

車への乗車

車を発車させる

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

キーでエンジンを始動させる



走行できます。

操作する

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドルリングを自動的に行うことができます。アフターアイドルリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあとも、アフターアイドルリングを自動的にを行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)
ただし、P・ポジション自動検出ができない車輛でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■ターボタイマー機能の設定

メインユニットのディップスイッチで設定します。(取付・接続説明書参照)

■ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能の設定をすると、車のキーをACCまたはOFFにしたとき、自動的にアフターアイドルリングになります。

※アフターアイドルリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※給油等でアフターアイドルリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、一旦シフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止することができます。

■オート方式のアフターアイドルリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドルリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ターボタイマー機能のアフターアイドルリング時間は、パーキングポジション(P)検出から開始します。

⚠注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。また、設定の解除をするときには、メインユニットのディップスイッチのNO.3(取付・接続説明書参照)以外は触れないでください。

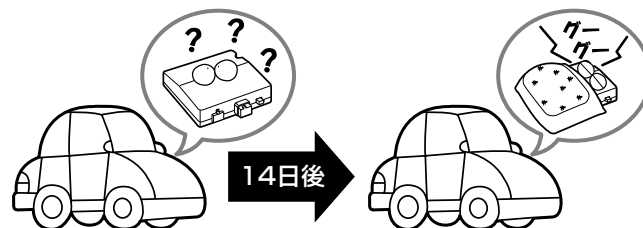
※カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。

スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。

スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

車のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

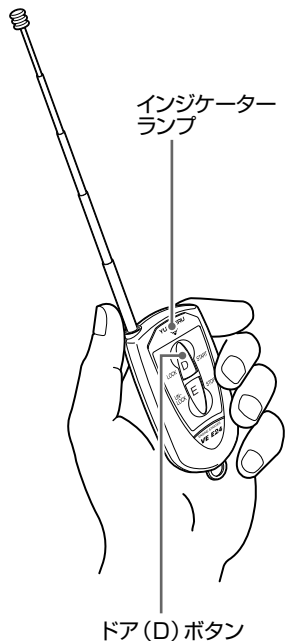
このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は、再度P・ポジション自動検出機能の確認(30ページ)が必要です。

ドアロック/アンロックの操作

別売 キーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。



ドアを閉める(ドアロック)

- 1 ドア(D)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す

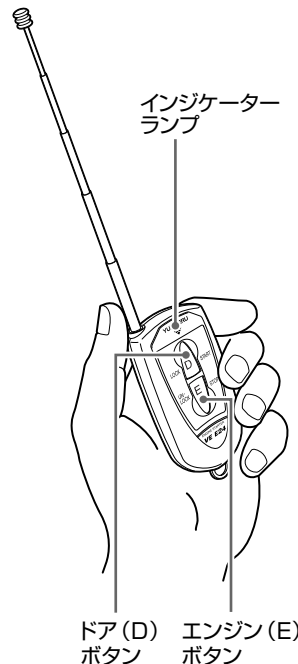


- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わり、ドアロック信号が送信されます。

※ 別売 ハザード制御：A-18SFを接続すると、ハザードランプを1回点滅して、ドアがロックされたことをお知らせします。



ドアを開ける(ドアアンロック)

- 1 ドア(D)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わり、ドアアンロック信号が送信されます。

※ 別売 ハザード制御：A-18SFを接続すると、ハザードランプを2回点滅して、ドアがロックされたことをお知らせします。

メモ

- 本機でエンジンを始動した場合や、本機のターボタイマー機能によりアイドリングしている間でもドアロック/アンロックの操作はできませんが、車のキーでエンジンを始動したときは、ドアロック/アンロック機能は動きません。また、本機でエンジンを始動後、車のキーをONにした場合、本機のアイドリング時間経過後は、ドアロック/アンロック機能は動きません。
- 本機でエンジンを始動する直前(セルが回っている間)は、ドアロック/アンロック機能の信号は受け付けません。

△注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコンの操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能*を搭載していませんので、リモコンでドアロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。
※ ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

リモコンの追加

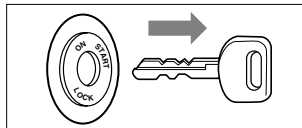
付属のリモコンの他に、もう1つリモコンを追加することができます。(合計2個まで)
リモコンの追加をご希望の場合は、弊社商品の取り扱いのある販売店でお買い求めください。

追加する場合は、以下の手順で登録を行ってください。

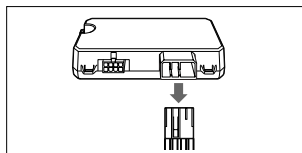
※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

※付属のリモコンが故障または紛失した場合は、手順5～8を省いて登録を行ってください。

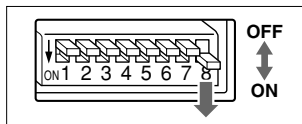
- 1** 車のキーを抜き、車を駐車した状態にする



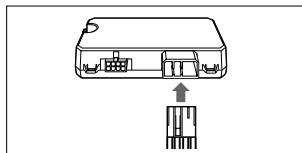
- 2** メインユニットのコネクター1(車種別専用ハーネス)を外す



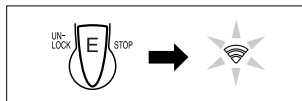
- 3** メインユニットのディップスイッチ No.8をON(ID書き込み)にする



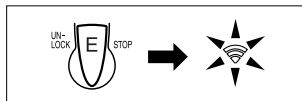
- 4** メインユニットのコネクター1(車種別専用ハーネス)を接続する



- 5** 付属のリモコンのエンジン(E)ボタンを押す



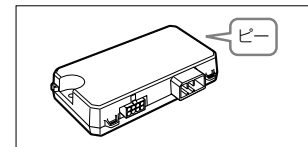
- 6** インジケータランプが点滅中(3秒間)に、再度付属のリモコンのエンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、リモコンからの信号を受信すると、メインユニットから「ピッ」と鳴る

- 7** もう一度、手順5、6の操作をする

- 8** リモコンからの信号を受信すると、メインユニットが「ピー」と鳴り、付属のリモコンのID書き込みが完了

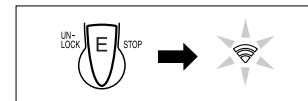


- 9** 追加リモコンに電池を装着する

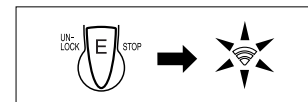
※市販のリチウム電池CR1616をご使用ください。

※リモコンに電池を入れるときは、電池の向きに注意してください。

- 10** 追加リモコンのエンジン(E)ボタンを押す



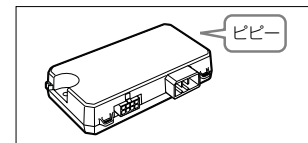
- 11** インジケータランプが点滅中(3秒間)に、再度追加リモコンのエンジン(E)ボタンを押す



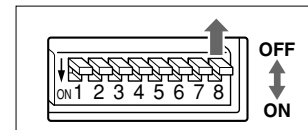
インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、リモコンからの信号を受信すると、メインユニットから「ピビッ」または「ピッ」と鳴る

- 12** もう一度、手順10、11の操作をする

- 13** リモコンからの信号を受信すると、メインユニットが「ピビッ」または「ピッ」と鳴り、追加リモコンのID書き込みが完了



- 14** メインユニットのディップスイッチ No.8をOFF(通常)にする



- 15** リモコンを追加した場合、本書30ページのP・ポジション検出の再設定が必要です。

■ハザード制御

(別売のA-18SF：ハザード制御を接続した場合のみ)

本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後(リモコン操作後 最大20秒以内)にハザードランプを3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態(3回点滅)の確認ができます。

さらに、別売 キーレスエントリー：A-17SFまたは弊社オートキーレスシステム接続車は、リモコン操作またはオートキーレス機能でドアをロック/アンロックすると、ハザードランプを1回/2回点滅してドアの施錠・解錠をお知らせします。

■無線イモビライザー

(別売のA-23SF：無線イモビライザーを接続した場合のみ)

本機リモコンでドアロック操作(別売キーレスエントリーの接続がない場合でも、イモビライザー機能は動作します)をすると、約15秒後にイモビライザー機能が働き、エンジンキーや模造キーではエンジンをかけられないようにして、車輛の盗難を防止します。

本機リモコンでドアアンロック操作をすると、無線イモビライザー機能も解除されます。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、本機のイモビライザー機能を設定(ON)後、スリープ機能が働いた場合でも維持されます。
- ※スリープ機能が働いた状態(無線イモビライザーを取り付けている場合)からエンジンを始動するときはスリープ機能を解除(車のキーでドアを開け、車のキーをACC ONにする)した後、無線イモビライザー機能を解除(リモコン操作でドアアンロックにする)してください。
- イモビライザー機能設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。

■イモビ対応アダプター

(別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ)

車輛純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。車輛のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※エンジンスターターでの始動を除いて、車輛純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

■オートキーレスシステム

(オートキーレスシステムを接続した場合のみ)

オートキーレスシステムのリモコンを所持しているだけで、“車に近づくとアンロック”、“車から離れるとロック”を自動で行う、一歩進んだキーレスエントリーです。

バッテリー交換や本体の付け替え時の再設定

バッテリーの交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
車種別専用ハーネスを接続すると、本機のメインユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。(このような場合では、P・ポジション自動検出の確認をしないと本機は動作しません)

1 車種別専用ハーネスをメインユニットのコネクター1に接続します

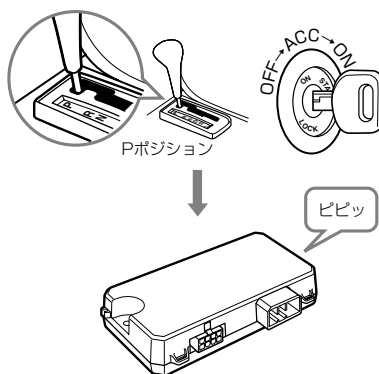
メインユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

※確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。

2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます

メインユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。

※何も音が鳴らない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を再度確認してください。



P・ポジションが検出できず、フットブレーキを配線した場合

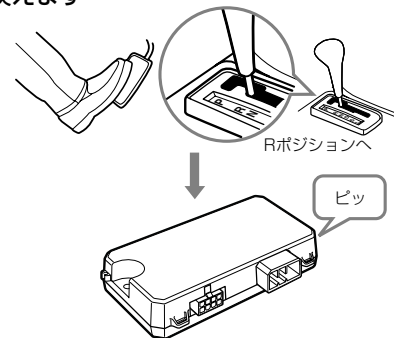
ブレーキペダルを踏まずに、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます

メインユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。

3 フットブレーキをかけシフトレバーをP(パーキング)・ポジションからR(リバース)・ポジションに切り換えます

メインユニットから『ピッ』と鳴ります。

※何も音が鳴らない場合は、P・ポジション自動検出ができません。ブレーキ検出線(茶)の接続が必要です。(ブレーキ検出線の接続先は取付・接続説明書をご覧ください)



P・ポジションが検出できず、フットブレーキを配線した場合

ブレーキを踏みます。

メインユニットが『ピッ』と鳴ります。

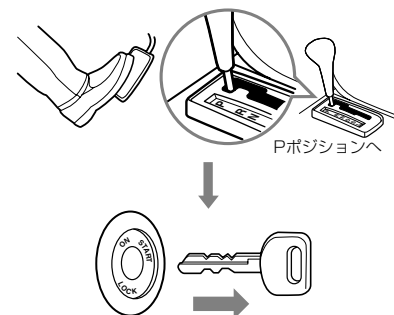
※ターボタイマー機能を使用する場合は、P・ポジションインジケータランプにブレーキ検出線を接続のうえ、メインユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、最初からP・ポジション自動検出を行ってください。

※ターボタイマー機能を使用しない場合は、ブレーキスイッチにブレーキ検出線を接続のうえ、「フットブレーキに配線した場合」の手順に従って、P・ポジション自動検出を行ってください。

4 シフトレバーをP(パーキング)・ポジションに戻し、キーを抜いてください

メインユニットより『ピー』という音が鳴ります。

※ブレーキ検出線をP・ポジションインジケータランプに接続した場合、『ピロピロピロピロ』と鳴ります。



P・ポジションが検出できず、フットブレーキを配線した場合

ブレーキをはなします。

メインユニットが『ピロピロピロピロ』と鳴ります。

以上でP・ポジション自動検出機能の確認は終了です

必要に応じて各センサー線(オルタネータ線、キーレスエントリー線、ハザード制御など)の接続を行い配線処理を行ってください。

※上記の操作で確認音が鳴らない場合や、何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類やアース線の接続場所、センサーハーネスの接続場所を変更する必要があります。お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

症 状	チェック項目	実施項目
操作ボタンを押してもリモコンのインジケータランプが点滅しない	- 電池が消耗していませんか？ - 電池が正しく入っていますか？	- 新しい電池と交換してください。 - 正しく電池をセットしてください。(11ページ参照)
リモコン操作でエンジンが始動または停止できない(インジケータランプが点灯する場合)	- スリープ機能が働いていませんか？(23ページ参照) - シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか？ - それぞれのコネクタがメインユニットへしっかり接続されていますか？ - メインユニットのディップスイッチが正しく設定されていますか？ - P・ポジション自動検出ができていますか？	1度キーでエンジンをかけてください。 - シフトレバーをパーキング(P)ポジションにしてください。 - 確実に接続してください。 - 正しく設定してください。(取付・接続説明書参照) - 一部の車種では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。(接続しないと、本機は動作しません) - 電波の届く範囲内で操作を行ってください。
	- 車と離れすぎていませんか？ - 車のバッテリーが弱っていませんか？	バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
	- キー操作でエンジンが始動しますか？ - キーでエンジンを始動していませんか？ - リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていますか？	- 車の点検をしてください。 - キーでエンジンを停止してから行ってください。 - アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。
リモコン操作できる距離が短い	- アンテナがメインユニットにしっかり接続されていますか？ - リモコンのアンテナに手を触れていませんか？ - リモコンの電池が消耗していませんか？ - 車とリモコンの間に、障害物がありますか？ - リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていますか？	- 確実に接続してください。 - アンテナに手を触れないで操作を行ってください。 - 新しい電池と交換してください。 - 障害物のない場所から操作を行ってください。 - アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。

本機は取り付け作業時およびエンジンスタート機能やターボタイマー機能が作動しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時にメインユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
PPP PPP PPP	Pポジションの検出ができていません。(30ページ参照)
P・P	エンジンスターター動作中断時 P・ポジション検出
P・P P	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
P・P・	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
P・P・P	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
PPP P	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
P・P・P P P	エンスト検出

仕様

■送信機(リモコン)

適合技術基準	特定小電力無線局
	テレコントロール用無線設備
送信周波数	426.0750MHz
電波型式	F2D
送信出力	1mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
使用電池	リチウム電池 CR1616×1
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	33(W)×63(H)×13.5(D)mm (突起部含まず)
重量	22g(電池含む)

■受信機(メインユニット)

受信周波数	426.0750MHz
電源電圧	12V車専用(DC9～16V)
消費電流	スリープ時：約4mA以下 待機時：約7mA 最大：約300mA
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
寸法	メインユニット： 138(W)×28(H)×63(D)mm (突起部含まず) アンテナ線：約2.4m
重量	135g

アフターサービスについて

次ページに続く

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのこと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分

メインユニット(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況なるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点はお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときや、追加をご希望の場合は、弊社商品の取り扱いのある販売店でお買い求めください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

※リモコンの追加にあたっては、メインユニットにIDコードを登録する必要があります。詳しい手順は26ページをご覧ください。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

ユピテルで相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00～18:00（年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

電子メールでのお問合せ先 service@yupiteru.co.jp

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ)本書のご提示がない場合
 - (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換

(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

※弊社営業所・サービス部は34ページをご覧ください。